

令和 8 年 第 2 回 定 例 会 ・ 一 般 質 問

○日 時 令和 8 年 6 月 8 日 (月) 午前 9 時～

○質問者及び質問の要旨

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
1	田中 賢	<p>1. 智頭町の林業振興について (山村再生課) 第 7 次智頭町総合計画も最終年度を迎え、新たに第 8 次智頭町総合計画策定に向けて今後 1 年をかけて取り組まれることと思う。</p> <p>(1) 豊かな森林を活かした都市部との交流について、どのように考えているのか。併せて企業と連携した取り組みはどのように進めるのか。</p> <p>(2) 次世代を担う取り組みについて現状と今後の方針をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 町内木材市場から杉、ヒノキの木材を令和 7 年度には 50, 709 m³が建築用材、合板、チップ材、燃料材に出されている。その内 11, 766 m³がチップ材として町外に出ているが、町内で木材チップを利用した地域振興の可能性についての考えを問う。</p> <p>(4) 上記の質問を踏まえ、第 8 次総合計画策定に向けて、森林・林業施策に関する町長の基本的考えを問う。</p>	9:00
2	大河原 昭洋	<p>1. 中東情勢の悪化に伴う本町への影響について (企画課、山村再生課、地域整備課、智頭病院)</p> <p>(1) 中東情勢の悪化に伴う原油・物価高騰が、町内の中小企業や農林業者に与えている具体的な影響について、町としてどのように現状を把握し、分析されているのか。</p> <p>(2) 影響の大きい林業・木材産業、製造業等の事業継続を支えるため、町独自の燃料費・電気代の補填措置や、低利の緊急融資制度の拡充など、即効性のある緊急経営支援策を講じる考えは。</p> <p>(3) 建築資材や住宅設備の調達遅延、および価格高騰が、町内の建築業者や進行中の住宅建築にどのような影響を与えているか、町としての現状認識は。</p> <p>(4) 町が発注する公共工事において、資材が入らないことによる工期の遅延や、急激な資材高騰が起きた場合、工期の柔軟な延長などの適切な適用・設計変更を柔軟に行う体制は整っているのか。</p> <p>(5) ナフサショックによる、医療用プラスチック資材の価格高騰および調達遅延について、智頭病院における現状と影響、今後の見通しをどのように考えているのか。</p>	9:30

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
3	波多 恵理子	<p>1. 障がい者差別解消について（総務課）</p> <p>2024年4月1日の改正障害者差別解消法施行により、事業者による合理的配慮の提供が義務化されたことも含め、本町の障害者差別解消の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 本町の民間事業所に対する合理的配慮の周知状況と事業者からの相談支援体制について問う。</p> <p>(2) 障がい特性（視覚、聴覚、発達、知的など）に応じた対応について町職員への研修はどのように行われているのか。</p> <p>(3) 町民利用施設、外郭団体、指定管理施設などに「合理的配慮を提供する」義務があることの、意識の徹底はできているのか。</p> <p>(4) 災害時、避難所において障がい者のニーズを踏まえた配慮がどのようにされているのか。</p> <p>(5) 障害者差別解消の推進に向けた町民への啓発・広報は具体的にどのように行っているのか。</p> <p>(6) あいサポート運動の推進に向けた取り組みはどのように行われているのか。</p>	10:20

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
4	岡田 光弘	<p>1. 住民アイデンティティを高めることについて (企画課・総務課・教育課)</p> <p>人口減少に歯止めがかからない中で、持続可能な地域社会を次世代に繋いでいくために、住民アイデンティティを高めしていくことは重要と考える。住民アイデンティティを維持し、さらに高めしていくための取り組みについてその姿勢を問う。</p> <p>(1) 現在本町における住民アイデンティティはどのような状態であるか、現状認識はいかがか。また、現状をどのように把握しておられるか。</p> <p>(2) 本町の住民アイデンティティの高さは、町の強みと考えるが、今後どのような分野で活かされると考えられるか。</p> <p>(3) 「智頭町町民の日」など特定の日を設けて、集約的な取り組みを行うことによって、住民アイデンティティを高めることは考えられないか。</p> <p>(4) 学校教育の中で、住民アイデンティティを高めることに繋がる取り組みをさらに強化できないか。</p> <p>2. 関係人口を定住に繋げることについて (企画課)</p> <p>現在、様々な人口減少対策が講じられているが、関係人口を定住人口に繋げていく取り組みが、ますます重要になってくると考えられる。本町での取り組みの方向性を問う。</p> <p>(1) 町として、関係人口を定住に繋げようとする取り組みは行ってきたが、その成果と課題についてどのように認識しているか。</p> <p>(2) 今後、関係人口を定住人口に繋げていく取り組みをより戦略的に行っていく必要があると考えるがいかがか。</p> <p>(3) 関係人口から定住に繋げた成果を、定着に繋いでいくために本町の取り組みで強化すべき点は。</p>	10:50
5	谷口 雅人	<p>1. 鳥取県関西本部への職員の派遣と民間交流について (企画課、総務課)</p> <p>(1) 関西圏の生の情報収集、人事交流の必要性を感じるがどうか。</p> <p>(2) 関西圏で智頭町の足掛かりとなる人的体制、組織的体制を整える必要性を感じるがどうか。</p> <p>(3) ふるさと納税の増加にも寄与すると考えるがどうか。</p>	13:00

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
6	古田 浩	<p>1. 部活動地域展開と子供達のスポーツ文化芸術活動の指導者育成について（教育課、総務課、企画課）</p> <p>(1) 令和8年度から「部活動改革及び地域クラブ活動の改革実行期間」となったが智頭町の取り組み状況の現状と課題を問う。</p> <p>(2) 部活動地域展開について主に中学生を対象にしているが、小学生も含めた地域クラブとして展開して行く考えはあるのか。</p> <p>(3) 中学校、小学生のスポーツ文化芸術活動を地域で支え育てる仕組み作りで大切な指導者の確保と育成についてどのように取り組むのか考えを問う。</p> <p>(4) 中学校クラブ指導者と小学生クラブ指導者に報酬とボランティアの差があるが、指導者資格も持ちながらボランティアにも限界があると思うが、考えを問う。</p> <p>(5) 地域クラブ活動を推進するにあたり財源の確保が必要だが、「ふるさと納税」「企業版ふるさと納税」の活用を進める考えは。</p>	13:40

質問 順位	質問者	質問の要旨	開始 時間
7	谷口 翔馬	<p>1. 情報発信について（総務課、企画課） 現在、行政情報の発信手段は多様化しているが、町ホームページは住民や町外者にとって重要な情報取得手段の一つである。しかし、必要な情報へたどり着きにくい、更新頻度が分かりづらい、スマートフォンで見づらいなどの声もある。さらに、ホームページは本町の「顔」とも言える存在であり、町外への魅力発信や関係人口創出にも大きな役割を担っている。そこで、ホームページを活用した情報発信について、以下の点を問う。</p> <p>(1) 本町ホームページのアクセス状況や利用状況をどのように分析しているのか。</p> <p>(2) 住民が必要な情報へ迅速にたどり着けるよう、ホームページの構成や検索性向上についてどのように考えているか。</p> <p>2. 移住定住促進対策について（企画課） 人口減少や少子高齢化が進む中、定住促進や移住者受入れを進めるためには、安心して暮らせる住宅環境の整備が重要である。特に、空き家の増加や老朽化、住宅不足、若者世代の住居確保などは地域課題となっており、「住みたい」「住み続けたい」と思える住宅環境づくりが求められている。また、子育て世代や高齢者にとっても、安全性や利便性を備えた住環境整備は、生活の安心につながるものである。そこで、本町における住宅環境整備について、以下の点を問う。</p> <p>(1) 本町における住宅環境の現状と課題をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 若者世代や移住希望者に対する住宅支援について、どのように取り組んでいく考えか。</p>	14:20

※開始時間は、議事進行状況により変動する場合があります。

※傍聴を希望される方は、議会事務局で所定の用紙に必要事項をご記入ください。